

# 屋外空間の取組（素案）

# 1. 感染症に強いまちづくりに向けた取組方針

- 新型コロナウイルスの影響により新たな生活様式が推奨される中、換気の良い屋外空間の利活用の重要性がより高まっている。
- 広場をはじめとする屋外空間では、来訪者の数による評価だけでなく、三密を避けた日常の使われ方に対する価値観が高まり、居心地の良さがこれまで以上に重視されている。



## <まちづくりのマクロな視点>

- 道路や広場空間と、沿道建築物が一体となった、風通しの良い広く豊かな屋外空間を創出するとともに、それらをつなぐウォーカブルな空間の整備などにより、魅力的な屋外空間のネットワークを形成する。

## <各施設の整備>

- 「身体的距離を保つ」「換気の良さをいかす」「非接触」などの感染症対策や、屋外空間でのイベント利用時の感染症対策について、新しい技術や制度を活用しつつ適切な対策を講じる。



人が主役の居心地の良い空間を創出し、感染症に強いまちづくりを目指す

### (1) まちづくりのマクロな視点

- 広く豊かな屋外空間を様々なエリアで創出
- 屋外空間のネットワークを形成
- 自転車走行空間の整備
- 快適な風環境の創出

## (2) 各施設での取組例

<p>① 身体的距離</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○沿道建築物と一体となったゆとりのある屋外空間の整備</li> <li>○身体的距離を確保できるデザイン性のある設え</li> <li>○作り込みすぎず様々な利活用が可能な空間の整備</li> <li>○感染状況に応じて身体的距離を確保するための啓発・パトロール等</li> </ul>
<p>② 換気 (換気の良い屋外空間の強みを活かす)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○換気の良い屋外空間の利活用の促進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路占用の許可基準の緩和制度の活用</li> <li>・風通しの良い屋外の遊休地・低未利用地を活用</li> <li>・広場空間等へのWi-Fiの設置</li> </ul> </li> <li>○開放的な芝生広場の確保</li> </ul>
<p>③ 非接触</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○非接触型の水洗の整備 (トイレ・水飲み場等)</li> <li>○非接触型のアルコール消毒</li> <li>○パンフレット等の電子化</li> <li>○キャッシュレス決済の導入 (駐輪場・利便施設等)</li> </ul>
<p>④ 運用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○混雑度の可視化 (広場空間等の混雑度を確認できるシステム)</li> <li>○来場者用のアルコール消毒液を設置・入場時の検温</li> <li>○密を抑制するための呼びかけ・混雑時の入場制限</li> <li>○出入口の一方通行化</li> <li>○兵庫県新型コロナ追跡システムの案内</li> <li>○飲食店舗等に対する時短要請等に応じた営業時間・営業内容の見直し</li> <li>○感染症流行の状況に応じた開催日時や営業内容の見直し</li> <li>※その他、関連する感染拡大防止を目的としたガイドライン等に準拠する</li> </ul>